



→風は南風。土曜日の嵐から一転して日曜日はポカポカ陽気だった。避難民になった浦安の埋め立て地の先生を案内して一日、葛飾柴又を歩いた。先生は草団子の家へのお土産に買った。



↑矢切に何本の電柱があるか知らないが、自宅から矢切駅へ行くまでの電柱は、すべて道路側が白く変色している。犬の小便のせいだ。

犬が西向きや尾は東。

そんなのあたりまえだよ、といったような意味に使う。

たぶん、昔はそれでよかったのだろう。しかし、いまのように外来種が巷にあふれてくると、この諺もしらけたものになる。

矢切の渡しのアイドル、クマの母親はコーギーだ。尻尾がない。そんなわけで、クマにも尻尾がない。産まれてすぐに切り落とされたからだ。

父親は甲斐犬なので、もしクマに尻尾があれば、くると上向きに、輪になつていたかもしれない。この場合は犬が西向きや……はあてはまらない。尻理屈をいうなど叱られそうなので尻尾の話はおく。

ところで、クマはオシッコをするとき両後ろ足を広げ、尻をさげてしゃがむ。これまで犬を飼ったことがなかったのでビックリした。

犬は片足を上げて電柱や塀や大木の根元にするものだと思っていたし、子どもころから絵本などで見ていた。ところが、ふと疑問を抱いた。どっちの足を上げるんだらうと。

## 今週のクマ

→クマにとって、いまごろの気候がいちばん過ごしやすいのだろう。すごく機嫌な顔をしている。いつもこんな表情をするように話して聞かせたが、わかったのかな？



藪を枯らすほど繁茂する蔓草のヤブガラシの若芽。いまのうちに摘んで茹で水に晒して辛みを抜くと和製アスパラの風味。

一日、電柱からすこし離れたところに立って犬がくるのを待っていた。するとどの犬も右足を上げてオシッコをするではないか。そこで、なるほど犬は左利きなんだと結論づけようとしたそのとき、左側を歩いてきた犬が、左足を上げるではないか。

エッ！

犬にも右利きと左利きがあるのかな。

そうおもってなお見ていると、ようすに右側を歩けば電柱が右側だから右足を上げ、左側を歩けば電柱が左側にあるから左足を上げるだけかもしれないとおもいはじめた。

ところが、次にやって来た犬は、電柱を通り過ぎると、やおらくりりと向きを変えて、わざわざ右足を上げた。

ウツ！ やっぱり犬にも利き足があるのかな？ わざわざ向きを変えてまでやるといふことは、そうなのかもしれない。頭がこんがらかってしまいそうなので、そっと電柱のそばを離れた。

どうだっていいことを、まじめに考えたってしかたがない。もしも、雄の犬を飼っている方がいたら、教えてほしい。あなたの犬は、右利きですか？ それとも左利きですか？